



羽島中学校だより 2月号

いちき串木野市立 羽島中学校

令和8年2月発行

ミラノ・コルティナオリンピックに見た「負けじ魂」 ～平野歩夢選手が教えてくれたもの～



校長 高田百香里

連日続いた日本選手のメダルラッシュ。熱戦の繰り広げられた第25回冬季オリンピック・ミラノ・コルティナ大会が先日、閉幕しました。「もっと見ていたかったなあ」と、オリンピック・ロスの方も多いのではないのでしょうか。

たくさんの種目・選手の闘いぶりやスポーツマンシップを見て、感動がたくさんありましたが、先日の全校朝会で羽島中生徒に私が特に取り上げ話をした選手、それはスノーボード男子ハーフパイプの平野歩夢選手です。

皆さんご存じのことだと思いますが、平野選手は前回オリンピックの覇者であり、世界中から連覇を期待されていました。ところが、ミラノオリンピックが始まる約20日前に、世界大会で大怪我を負ってしまったのです。その怪我というのが、「骨盤骨折とその他の複数の骨折と打撲」でした。ちっとやそっとの怪我ではありません。骨盤が骨折した状態で、スノーボード・・・・。しかも空中で3回転も4回転もする、健康な状態の選手の試合でも見ているハラハラ・ドキドキするような、危険と隣り合わせのような競技だと思えるのです。

この、平野選手の怪我の報道を聞いたとき「ミラノオリンピック出場は、厳しいだろうな。」「本人もどんなにか残念で悔しい思いだろう。」と思いました。

ところが！リハビリも途中の状態でも出場が危ぶまれたにもかかわらず、彼は出場を果たしました。ものすごい精神力だと思います。そして、出場だけでもすごいのに、予選を突破し、なんと決勝の大舞台へ進みました！

「メダルを取ってくれるといい。」と試してみたりしましたが、決勝に進むだけでもすごいことなのです。結果は7位でしたが、大怪我から復帰直後の体で、新技「ダブルコーク1620(縦2回転・横4回転半)」に果敢に挑み、これをみごとに成功させました！

本当に、素晴らしいと思います。

痛み止めを飲み、ぶっつけ本番のような状態にありながら、高難度トリックで果敢に挑み、限界を超えようと挑戦する姿を私たちにを見せてくれたのです。「本番でも恐怖心はあったが、本気で頂点を狙いにいった」「思い切って生きるか死ぬかの闘いみたいな気持ちをもって滑った。」なんと心を揺さぶる言葉でしょうか。さすが、世界王者の言葉だと思います。あの、決勝2回目からの滑りは、王者の風格を感じさせる、気概たっぷりの、息をのむような演技だったと感じました。

7位という結果でしたが「今の状態での全力を出し切れた」「自分の全力と向き合えたことに感謝。これから先につながっていくいい経験をさせてもらった。」「これからも前を向いて進んでいきたい。」と試合後のインタビューで答えていました。

「生きるか死ぬか」の思いでの挑戦だっただけに、「生きて帰って来れてよかった。」という本音を吐露していたことも印象的でした。

さて、皆さん。ここで思い出されるのが羽島中学校の合い言葉「羽島の伝統 負けじ魂」です。こんなすごい「負けじ魂」を地で行って体現してくれている例は、そうそうありません。

4月から、羽島中学校の在校生23名はそれぞれの新しい場所へと活躍の場を移すことになります。ここで培ってきた羽島の地ならではの学びや羽島の人間としての気概とプライド、そして「負けじ魂」をもって前に進んでいって欲しい、そう強く願います。

もう、目の前に春はやってきています。来週から3月。そして3月8日(日)は閉校式・閉校式典、3月11日(水)は羽島中学校最後の卒業生を送る卒業式。

残された時間はあとわずか。羽島中学校での良い記憶を、思い出を、一緒にたくさん作っていく日々にしていきましょう！

夢を広げる第一歩。Googleの方から学んだ『仕事』と『創造』

1月19日にGoogle for Educationの長谷川さんをお招きし、タブレットの簡単活用法やGoogleの生成AI「Gemini」の活用法・注意点、「働くこと」の意義についてお話いただきました。

Googleってどんな会社なのか、食事が無料なのは本当かという身近な疑問から、必要な語学力やどんな働き方をしているのかなど、生徒たちの次々に出る質問の一つひとつ丁寧に答えていただきました。短い時間でしたが、未来への好奇心に心が大きく膨らみ、ワクワクしたひとときとなりました。

【生徒の感想より】

- ◇ 今回いただいたお話はどれも心に響くものばかりで、自分のこれからの生き方を考える大きなきっかけになりました！
- ◇ お話の中で一番心に残っているのは「何にでもアレルギーを持たないことと、仲良くすること」です。私は今、勉強にアレルギーを感じてしまっているの、それを克服して、友達との仲をもっと深めていきたいです。
- ◇ 「人前で話せるようになるには、発表やプレゼンを重ねて慣れていくことが大切」というアドバイスを心に留めて、これからの生活に生かしていきたいです！



小学校への乗り入れ授業

先日、羽島中学校区小中一貫教育の一環として、羽島小学校5・6年生を対象に国語(書写)の「乗り入れ授業」を実施いたしました。中学校の教員が直接指導に当たる中、児童の皆さんが真剣に筆を走らせ、言葉を紡ぐ姿が非常に頼もしく、中学校生活への期待を感じる時間となりました。

こうした小中の垣根を越えた交流は、学習面の円滑な接続だけでなく「中1ギャップ」の解消にも繋がります。

今後も9年間の学びを見据え、地域・家庭と連携しながら、子供たちの健やかな成長を支えてまいります



第4回学校運営協議会

2月18日、本校最後となる第4回学校運営協議会を開催しました。委員の皆様には、理科、国語、音楽の授業参観を通して生徒の成長をご覧いただいた後、閉校に向けた真摯な意見交換を行いました。長きにわたり、地域と学校の架け橋として多大なるご支援を賜りました委員の皆様、心より感謝申し上げます。

皆様と共に歩んだ歴史を誇りとし、いただいた貴重なご提言を閉校までの歩み、そして未来へと大切に繋いで参ります。



受賞等

- Geminiとひろげる、君のアイデアコンテスト 優秀作品(全国から7作品に入賞)1年1名
- 日本学生科学賞 佳作 2年1名

★おめでとう★

3月の主な行事予定

※ 3年生は、公立入試が近づいてきました。精一杯の努力をして当日を迎えましょう。1・2年生は、1年のまとめをしっかりして、進級に備えましょう。

日	曜	行 事	日	曜	行 事
4	水	公立高校入試(1日目), 合同学習(2年)	12	木	公立高校一般選抜合格発表
5	木	公立高校入試(2日目), 合同学習(1年)	14	土	土曜授業, 保護者挨拶運動(2年)
8	日	羽島中学校閉校式・記念式典	25	水	修了式 大掃除 離任式
10	火	卒業式予行・準備			小中PTA送別会
11	水	卒業式	26	木	串木野中への引越し作業